

# 演習問題

※症例6は、多重がん判定も行ってください。

採用したルール(肺 等)、判定決定したルール(M●)、  
判定結果(単発 or 多重)を回答欄に記載してください。

※登録対象になる症例に対して、各項目の登録内容を  
回答用紙に記載してください。

<症例 1> 78歳 男性

**【現病歴】**

2023年10月30日に受けた老人健康診査でPSA高値(12ng/mL)を指摘され、11月22日A医院受診。  
前立腺癌疑いにて当院紹介。

**【経過】**

2023年12月4日 当院紹介初診。

直腸診:異常所見なし。

経直腸超音波検査:明瞭に描出できず。

2023年12月11日 初診時のPSA検査13ng/mL。

MRI施行:原発同定不明瞭、周囲浸潤、他臓器転移なし。

2023年12月14日 生検施行。

2023年12月22日 骨シンチグラム:骨転移なし。

2023年12月27日 検査結果から、前立腺癌であること、ホルモン療法を行うことを、本人と家族に説明。

本日よりホルモン療法(カゾデックス)開始。

《病理報告》 12月14日 生検

Adenocarcinoma, Gleason score 3+3

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 2> 75歳 男性

**【現病歴】**

残尿感を主訴に 2023 年 11 月 6 日 B 泌尿器科クリニック受診。直腸診、超音波検査、PSA 検査(3ng/mL)等の結果から前立腺肥大症と診断され、加療目的に当院紹介。

**【経過】**

2023 年 12 月 5 日 当院紹介初診。

前医の検査結果より、TUR-P を行うこととなった。

2023 年 12 月 18 日 治療目的に入院。

2023 年 12 月 19 日 TUR-P 施行。

2023 年 12 月 21 日 経過良好にて退院。

2024 年 1 月 5 日 病理検査結果、前立腺癌が見つかった旨、本人と家族に説明。

本人の希望により監視療法を行うこととなった。

**《病理報告》**

benign prostatic hyperplasia

Well differentiated acinar adenocarcinoma, Gleason score 3+3

間質の結節性過形成、腺管の結節性増生がみられ、前立腺肥大症と考える。

TUR-P 施行で得られた検体の一部(4%程度)から Adenocarcinoma が認められた。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 3> 68歳 男性

【現病歴】

頻尿を主訴に2023年9月15日F医院を受診。PSA:16.8ng/mLと高値のため、前立腺癌を疑われ、精査、加療目的に当院紹介。

【経過】

2023年9月28日 紹介初診。初診時のPSA:16.5ng/mL

2023年10月6日 TRUS 下生検施行。

2023年10月13日 MRI:腫瘍は前立腺内全体に拡がっている。

明らかなリンパ節転移、他臓器転移は認めない。

前立腺癌であること、手術を行い、術後からホルモン療法を開始する旨、

本人・家族に説明。

2024年1月16日 手術目的にて入院。

2024年1月17日 ダヴィンチ手術(腹腔鏡下全摘除術)施行。

2024年1月25日 経過良好にて退院。

本日より、ホルモン療法開始。

《病理報告》 10月6日 生検

Adenocarcinoma, Gleason score 4+3

《病理報告》 1月17日 手術

Moderately differentiated acinar adenocarcinoma usual type, Gleason score 4+5

左葉を主体とし、右葉にも及ぶ、広い範囲に腫瘍の増生を認める。全体は概ね一続きの腫瘍である。

一部膀胱頸部へわずかな進展を認める。断端陰性。

郭清リンパ節(+):右内腸骨リンパ節(1/3)、左内腸骨リンパ節(1/3)

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 4> 48歳 男性

【現病歴】

1 週間ほど前から右精巣にしこりを自覚し、当院受診。

【経過】

2023 年 11 月 7 日 自施設初診。

身体所見: 右精巣が腫大している。

2023 年 11 月 10 日 胸部 CT 施行。

所見: 腹部大動脈周囲のリンパ節に 30mm 径の転移を 2 個認める。

腫瘍マーカー(11 月 7 日採血)

LDH: 404IU/l(正常値 210 以下)、 AFP: 355.4(正常値 6.0 以下)ng/ml、

hCG: 13236.0mIU/ml

精巣がんであること、手術を行い、その後に化学療法を行う旨、本人と家族に説明。

2023 年 11 月 15 日 治療目的にて入院。

2023 年 11 月 16 日 右高位精巣摘出術施行。

2023 年 12 月 1 日 腫瘍マーカー施行。

LDH: 335IU/l、 AFP: 100ng/ml、 hCG: 4500mIU/ml

2023 年 12 月 5 日 化学療法開始

2023 年 12 月 29 日 経過良好にて退院。

≪病理報告≫

Non-seminomatous germ cell tumor of more than one histological type; Embryonal carcinoma (60%) + seminoma (30%) + Yolk sac tumors postpubertal-type (10%)

腫瘍は胎児性癌を主体とする 4×3.5×2cm 径。白膜にとどまり、鞘膜への進展は見られない。

切除断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 5> 70歳 男性

**【現病歴】**

2 か月くらい前から亀頭に発赤があったが放置。びらんが認められるようになり、当院泌尿器科初診。

**【経過】**

2023 年 11 月 24 日 当院初診。

亀頭から陰茎部にびらんを認めた。

触診で右鼠径リンパ節にリンパ節転移と考える腫大を認めた。

亀頭部より生検施行。

2023 年 12 月 1 日 MRI にて亀頭から陰茎の尿道海綿体への浸潤を認めた。

CT にて右鼠径リンパ節に腫大を認め、リンパ節転移と考える。他臓器への転移所見はない。

陰茎癌の診断で、手術と術後化学療法を行う旨、本人と家族に説明。

2023 年 12 月 12 日 治療目的に入院。

2023 年 12 月 13 日 陰茎部分切除、鼠径リンパ節郭清術施行。

2023 年 12 月 20 日 化学療法開始。

2023 年 12 月 26 日 経過良好にて退院。

《病理報告》 11 月 24 日 生検

Squamous cell carcinoma

《病理報告》 12 月 13 日 手術

Well differentiated squamous cell carcinoma

亀頭部背側から陰茎にかけて 3.0cm×3.0cm×2.0cm の表面にびらんを伴う腫瘍を認める。

腫瘍は尿道海綿体への進展を認めた。切除断端陰性。

鼠径リンパ節郭清: 右:2/8 左:1/8

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 6> 2歳 男性

【現病歴】

母親が右瞳孔の白濁に気づき、2022年11月2日B病院眼科受診。眼底検査で網膜芽細胞腫を疑われ  
当院紹介。

【経過】

2022年11月11日 当院紹介初診。

眼底検査施行。右眼は、視神経から2mm程離れたところに、5mm径の腫瘍があり、  
3mmの網膜下液を認める。左眼は特に病変は認められない。

右網膜芽細胞腫と診断された。

2022年11月18日 MRI:腫瘍は右眼球内にとどまっている。

右網膜芽細胞腫の診断。眼球外への進展はないが、腫瘍の大きさから化学療法を  
行い腫瘍を縮小させ、その後レーザー治療を行うことを両親に説明。

2022年12月5日 治療目的に入院。

2022年12月7日 化学療法開始。

2022年12月10日 経過良好にて退院。今後2クール of 化学療法が計画された。

2023年1月10日 レーザー治療目的に入院。

2023年1月12日 レーザー治療施行。

2023年1月14日 経過良好にて退院。今後は定期的受診で経過観察を行う。

2023年11月6日 定期受診時の眼底検査で、左眼に視神経から3mm程はなれたところに、石灰化を  
伴う2mm径の腫瘍を認め、網膜芽細胞腫と診断。

レーザー治療を行う旨を両親に説明。

2023年11月20日 治療目的に入院。

2023年11月22日 レーザー治療施行。

2023年11月24日 経過良好にて退院。

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
<b>【699】腫瘍情報テキストへのコメント</b>		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC <b>cT</b>
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC <b>cN</b>
329 病理診断 《テキスト》	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC <b>cM</b>
	720 内視鏡的治療	540 UICC <b>c</b> 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC <b>c</b> ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 <b>c</b> ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC <b>pT</b>
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC <b>pN</b>
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC <b>pM</b>
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC <b>p</b> 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC <b>p</b> ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 <b>c</b> 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 <b>p</b> 進展度

症例番号

採用ルール	多重がん判定	
		760 内分泌療法
		761 内分泌療法 施行日
<b>【699】腫瘍情報テキストへのコメント</b>		765 内分泌療法 (開始前・他施設)
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)
		770 その他の治療
110 重複番号	700 外科的治療	775 その他の治療 (開始前・他施設)
140 性別	701 外科的治療 施行日	776 その他の治療 (開始後・他施設)
300 原発部位 《局在コード》	705 外科的治療 (開始前・他施設)	780 経過観察選択
309 原発部位 《テキスト》	706 外科的治療 (開始後・他施設)	790 緩和的治療
	710 鏡視下治療	
310 側性	711 鏡視下治療 施行日	510 UICC <b>cT</b>
320 病理診断 《形態コード》	715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	520 UICC <b>cN</b>
	716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	530 UICC <b>cM</b>
329 病理診断 《テキスト》	720 内視鏡的治療	540 UICC <b>c</b> 付加因子
	721 内視鏡的治療 施行日	500 UICC <b>c</b> ステージ
330 診断根拠	725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
350 当該腫瘍初診日	726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	550 規約肝 <b>c</b> ステージ
360 他施設診断日	730 観血的治療範囲	
370 自施設診断日	740 放射線療法	610 UICC <b>pT</b>
380 診断日	741 放射線療法 施行日	620 UICC <b>pN</b>
400 診断施設	745 放射線療法 (開始前・他施設)	630 UICC <b>pM</b>
410 治療施設	746 放射線療法 (開始後・他施設)	640 UICC <b>p</b> 付加因子
420 症例区分	750 化学療法	600 UICC <b>p</b> ステージ
450 来院経路	751 化学療法 施行日	
460 発見経緯	755 化学療法 (開始前・他施設)	580 <b>c</b> 進展度
470 病名告知の有無	756 化学療法 (開始後・他施設)	680 <b>p</b> 進展度

<症例 7> 65歳 男性

**【現病歴】**

左の白目にびらん性の隆起があり、痛みを伴うため 2023 年 12 月 7 日に近医眼科受診。悪性腫瘍を疑われ、当院紹介。

**【経過】**

2023 年 12 月 14 日 当院紹介初診。

病変は 7mm 程度で、眼球結膜から上円蓋結膜に拡がる。生検施行。

眼底検査で、眼球内部への腫瘍の拡がりは認めない。

2023 年 12 月 22 日 CT、MRI 検査にて、リンパ節転移、他臓器転移は認めない。

左結膜癌の診断で、腫瘍摘出術と冷凍凝固術を行う旨、本人と家族に説明。

2024 年 1 月 10 日 手術目的に入院。

2024 年 1 月 11 日 腫瘍摘出術＋冷凍凝固術施行。

2024 年 1 月 23 日 経過良好にて退院。

《病理報告》 12 月 14 日 生検

Squamous cell carcinoma

《病理報告》 1 月 11 日 手術

Squamous cell carcinoma

腫瘍は、球結膜から上円蓋結膜へ拡がる 7.5mm 径の扁平上皮癌。

切除断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			